

未来の看護につながる 実習施設の確保と連携

1. 実習施設確保困難の常態化(特に母性・小児・在宅)
2. 多忙な臨床現場における実習指導体制確立の困難
→指導者の専任化、指導者研修受講の促進を
3. 学生の病院への就職は臨床・学校の共通の願い
病院:マンパワーの確保
学校:「看護」が学べる授業の場として
4. 学校と臨床の良好なコミュニケーションによる連携
 - 1) 授業評価結果(学生アンケート)の活用
 - 2) 都立病院との共同PTによる「診療の補助技術の経験拡大に向けての連携
 - 3) 都立看護と全実習施設とのワークショップ
 - 4) 新卒看護師を支援するホームカミングディ(写真5)

15

福祉保健局ミニ通信

第193号 2008.07.17～ 東京都福祉保健局 作成～

☆ ホームカミングデーを開催！

10日、板橋看護専門学校では、今春の卒業生を招いて『ホームカミングデー』を開催しました。遠くは鹿児島県から飛んで来てくれた方もあり、卒業生の7割にあたる50名の参加がありました。

「板橋看護専門学校にお帰りなさい!」の校長挨拶にはじまり、卒業生による1分間スピーチの後、教員との懇談が行われました。

スピーチでは、インシデントを機に髪を切ったこと、先輩プリセプターの優しさや、患者の一言に励まされたこと、そして同期と一緒に頑張っていることなど、各病院に就職してからの近況報告が笑いあり涙ありで語られました。

その後の懇談会では、大きな笑い声の響く中、教員に悩み事を相談する真剣な姿もちらほら見受けられました。最後に、「ガンバレ!いたかん35卒業生」の入ったボールペンとともに、「石の上にも3年」、「乗り越えられない壁はない」と書かれた、教員からの熱いメッセージの入った手作りカードが、参加者全員にプレゼントされました。



新人看護師の離職率が高くなる就職後三か月目に『ホームカミングデー』を実施することで、辛いことがあっても相談できる仲間や先生がいること、そしていつでも帰ってこられる母校があるということ、卒業生にあらためて伝えることができた一日でした。

【板橋看護専門学校】

16